

夏の大会が終了しました！！



6月29日(木)第3試合 江陵高校との試合は6対10で負けてしまいました。お忙しい中、応援に来ていただき本当にありがとうございました。また、全校応援と言う素晴らしい状況の中で野球ができたことを大変嬉しく思っています。全校生徒、先生方ありがとうございました。

今回のチームは昨年の秋の大会で代表決定戦まで進出し、シード権を確保することができました。今年の春の大会も準決勝まで進出することができ、最後の夏の大会のシード権を得ることができました。

力のあるチームでしたが、監督の私が選手の力をうまく発揮させることができなく、残念ながら最後の大会は終了しました。取られたら取り返す、追う展開でもひるむことなく戦うことができたチームでした。今回も諦めることなく最後まで戦ってくれました。先行逃げ切りと言う今までの南商野球部のスタイルとは違い、目に見えない力を持った3年生でした。南商野球部、後輩たちに、何か新しい風を吹き込んだ3年生です。2年と3ヶ月本当にご苦労様でした。

3年生の保護者の方々におかれましては、2年と3ヶ月、毎朝のお弁当作り、毎朝毎晩の送迎等、ご協力ご支援本当にありがとうございました。南商野球部の日々の取り組みは保護者の方々のご協力なくして成り立ちません。ありがとうございました。

3年生はいよいよ進路活動が始まります。ほっと一息つきたいところですが自分自身の将来、人生設計、先にある幸せなど、色々なことを考える大切な進路活動スタートです。

野球と同じように小さな努力の積み重ねが、大きな希望と栄光につながります。自己都合と自己満足で生活することなく、自分の将来を見据えながら、今日この日を生活してください。これからが本当の勝負です。糸が切れた凧のようになることなく、高校野球で培った、南商野球部で身につけた先を見通す力・想像予想する力を活かし、自分の幸せを自分で掴める人間になってほしいと思っています。

高校野球はいつか終わりますが、自分の人生の終わりはありません。親以外の大人に手を貸してもらえる、親以外の大人に支えてもらえる日々の行いを常に心がけてください。自分の持っている力と周りの支えがかみ合ったときに前に進めるはずです。

野球と同じように自分の感情を優先するのではなく、日ごろの努力の積み重ねで身についた己の力と、親以外の大人の想いを理解する気持ちのかみ合いを大切にしてください。自分の損得に走らず何かのためにひたむきに取り組んでいると、必ず誰かが見てくれています。必ず誰かが手を差し伸べてくれるはずです。

野球も人生も相手がいて成り立つことです。今まで自分のために好きな野球をずっとさせてもらっていました。これからは誰かのために頑張る、誰かのために努力する、そんな姿勢も大切にしなければいけない年齢です。今後の人生は負けるわけにはいきません。しっかり考え整理して、しっかり準備して形に残る実証のあるものを身につけ、これから向かい打つ進路活動としっかり向き合って行動してください。野球の勝負事とは違います。堅実に誠実に積み重ねることです。

野球が終わっただけで、高校生活が終わったわけではありません。残り8ヶ月、これからの3年生の学校生活が本当の意味でのあなた方の評価です。これからの3年生の学校生活に注目しながら、期待もしています。2年と3ヶ月よく頑張りました。ご苦労様でした。



帯広南商業高校野球部 監督 小林 真基